

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



西福寺の火渡り

撮影：山崎 惇夫さん（平井在住）
撮影場所：大久野 西福寺

平成 27 年 第 4 回定例会

- ・マイナンバー法にもとづく「行政手続きにおける特定の個人番号を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例」など 24 件の議案を審議…………… 2P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」 11 人の議員 …………… 5P
- ・常任委員会視察レポート …………… 11P

定 例 会

審 議 内 容

12月1日から12月11日までの11日間の会期で開催されました。今回の定例会では、24件の町長提出議案を審議し、すべて原案通り可決し、1件の陳情については不採択となりました。

主な議案として、条例ではマイナンバー法の施行に伴い、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例」が審議されました。

これは、日の出町において個人番号を利用して行う独自利用事務及び各所属間で特定個人情報授受を行う庁内連携を行うことを可能とする条例です。予算として、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算が審議されました。

また、人事案件として、日の出町教育長の任命、自治功労者表彰について審議されました。

条例の制定

・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例
…………… 可決

・日の出町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例…………… 可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い制定するもの。

・日の出町教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例…………… 可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い制定するもの。

条例の一部改正

・日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例…………… 可決
期末手当の年間支給月数を0.1月引き上げるもの。

・日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
…………… 可決

期末手当の年間支給月数を0.1月引き上げるもの。

・日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…………… 可決
給料表について、0・12%増額改定、期末勤勉手当を年間0.1月引き上げ。

・日の出町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例…………… 可決
マイナンバー法における法人番号に関する定義を追加し、規定を整備するもの。

・日の出町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例…………… 可決
日の出町国民健康保険税について、2・38%の引き上げを行うもの。



議案審議の様子

・日の出町介護保険条例の一部を改正する条例……………可決

マイナンバー法の施行に伴い、個人番号の利用を開始するに当り、必要となるため。

・日の出町教育長の給与の特例に関する条例を廃止する条例……………可決

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い廃止するもの。

・日の出町出産助成金支給に関する条例の一部を改正する条例……………可決

マイナンバー法の施行に伴い、改正する必要があるため。

平成27年度補正予算

予算決算常任委員会に付託

・平成27年度日の出町一般会計補正予算(第3号)……………可決

歳入歳出それぞれ百万円を減額。主な内容

・保育所運営費

4千417万7000円増額

・障害福祉サービス費

1千975万6000円増額

・高齢者医療費助成費

1千万円増額

・平井橋補修工事

2千950万円減額

・平成27年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)……………可決

歳入歳出それぞれ191万8000円を追加。

・平成27年度日の出町下水道事業特別会計補正予算(第2号)……………可決

歳入歳出それぞれ1千396万8000円を追加。

・平成27年度日の出町介護保険特別会計補正予算(第3号)……………可決

歳入歳出それぞれ909万7000円を追加

・平成27年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)……………可決

歳入歳出それぞれ2百万円を追加。

人事

・日の出町教育長の任命について……………同意

小林 道弘 氏

任期 平成27年12月15日から

平成30年12月14日



・自治功労者表彰につき同意を求めることについて……………同意

日の出町自治功労者

大澤 言枝 氏

町議会議員として活動

神田 芳男 氏

町議会議員として活動

濱田 敏郎 氏

町議会議員として活動

宮田 昇 氏

農業委員会会長として活動

田中 継 氏

消防団長として活動

橋本 芳夫 氏

町職員・教育長として奉職

道路の認定

・日の出町道路線の認定について……………可決

新たに町道5路線を認定するもの。

陳情

厚生文教常任委員会に付託

・住民監査請求による勧告を無視した社会教育関係団体登録と使用料減免に関する陳情……………不採択

常任委員会

12月1日

予算決算常任委員会

・一般会計・特別会計補正予算 審査

12月8日

総務まちづくり常任委員会

12月9日

厚生文教常任委員会

・陳情1件について審査

議 案 と 結 果

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	町	共	新	結 果
53	日の出町教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
54	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
55	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
56	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
57	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
58	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
59	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	同意
60	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	○	○	○	○	×	○	可決
61	日の出町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
62	日の出町教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
63	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
64	日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
65	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
66	日の出町町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
67	日の出町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
68	日の出町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
69	日の出町教育長の給与の特例に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	可決
70	平成27年度日の出町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
71	平成27年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
72	平成27年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
73	平成27年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
74	平成27年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
75	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
76	日の出町出産助成金支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決

＜陳 情＞

番 号	陳 情 名	陳 情 者	審議結果
27 陳情第1号	住民監査請求による勧告を無視した社会教育関係団体登録と使用料減免に関する陳情	田 畑 邦 晃	不 採 択

＜各会派の名称と略号＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★星野 茂・東 亨・平野 隆史・小玉 正義・東 玉喜	5人
明 政 会	明	★田村 みさ子・濱中 映慈・村木 満・清水 浩	4人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
町 民 党	町	★青鹿 和男	1人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1人
一 新 の 会	新	★加藤 光徳	1人

一般質問

11人の議員

町政を問う 要旨



平野 隆史

外出支援バスについて

質 利用状況は。

課長 24年度4万8061人、25年度4万9554人、26年度4万9574人で微増傾向が続いている。

質 土日・祝日の運行は。

課長 起点が老人福祉センター等の施設であることをはじめ、需要の把握、運行体制・経費等の検討事項も多く、運行する段階には、至っていない。

質 今後の展望は。

課長 交通機関の少ない当町において、重要な事業であり、高齢者人口の推移等を勘案し、中長期的な事業内容の検討を進めていく。

また、本年4月より委託先が、シルバー人材センターから、町の直接事業へ変更し、人



外出支援バス

材派遣により、事業を運営しており、早期の検討が必要な状況にある。

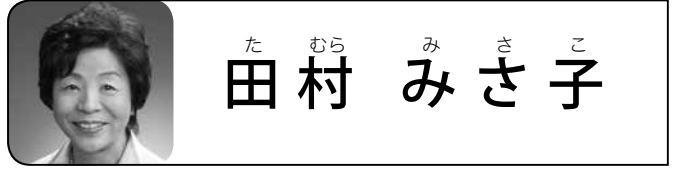
質 利用者のニーズに応じた、運行が大切だが、アンケート等取っているのか。

課長 11月18日から約1週間、乗車している方、総勢66名の方からアンケートを頂いた。

特徴的には、70歳から80歳の女性の方が多く利用されている。利用頻度は、週1〜2回が27%、3回以上の方が58・2%で、85%は複数回利用している。利用時間帯は9時台が非常に多い。

質 乗り切れない場合の対応は。

課長 乗車時に運転手の方が、不便をおかけすることもありますが、案内をしているが、今後も継続的に検討を進める。



たむらみさこ
田村みさ子



学校訪問の様子

小中学校予算を問う

質 常任委員会の学校訪問で学校から予算要望を伺った。特別教室へのエアコン設置、大久野中の汚水槽撤去、本宿小の校舎など学校施設整備の年次計画は立てられているか。

教育長

3カ年の事業計画で適正な施設管理に努めている。

質 更なる通級指導学級の機能強化と、特別支援教育の充実が求め

られているが、来年度に向けて充実の検討を。

教育長

特別支援学級の設置、非常勤教員の配置等検討していく。

質 学校教育予算の重要性について、町長の見解を伺いたい。

町長

子どもはこれからの町と国を背負って立つ尊い存在。教育予算充実に配慮する。

第4期日の出町障害福祉計画を問う

新たな法律が計画

に反映されているか。

町長

新たに障害者総合支援法、同虐待防止法、同差別解消法が成立した。一例として「サービ

ス等利用計画作成」が必要となったが、相談支援体制の質の向上を図っていく。

課長

総合的な相談支援センター設置が課題。

柳泉園組合問題を問う

質 ごみ清掃工場で9月1日に、排出ガスから高濃度水銀が検出されたが、町への状況報告は。

町長 11月9日に報告があった。排ガス中の水銀濃度が急激に上昇したため炉を停止した。公害防止協定の基準は超えることはないとの報告である。

マイナンバー制度の取り組み状況を問う

質 現在までの取り組みと今後のスケジュールについて。

課長 制度導入をスムーズに進めるため、連絡会を昨年発足させた。今日まで5回開催し今後も連絡会を重ねていき、遺漏のないよう進めていく。また、全職員を対象に研修も実施した。

質 町民や町内企業などからの問い合わせは。

課長 番号通知カードの送付先、配達時期、個人番号などの問い合わせが寄せられている。当面の課題と対策について。



ほし
星野の
しげる
茂

△改修を進めていく。

いじめ問題を問う

質 町内各校の実態は。

課長 現在の認知件数は小学校で10件、いずれも指導により解消。中学校は認知件数が5件で指導により解消4件、指導継続中が1件ある。

質 いじめ防止基本方針について町の現状は。

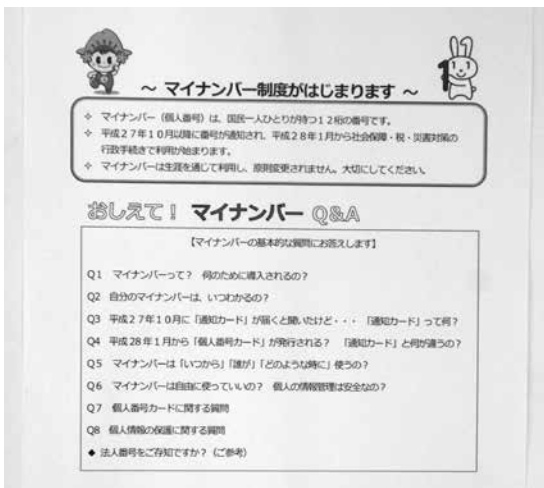
課長 町は昨年、国や

部の基本方針を参考に、して方針を定めた。これを基に学校とともに未然防止と早期発見、早期対応を図っている。

(仮称)野鳥の森・子ども自然公園を問う

質 森の進入路のうち3箇所の適当な場所へ駐車場・トイレ・休憩所を設置すべきでは。

課長 順次整備している。当面は管理棟を進め、棚田復活やゾーンごとの入口整備などを検討していく。



1月から始まるマイナンバー制度



小玉正義

教育委員会の制度について問う

質 25年度「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」について、21年度から報告書が発行されているが、どのように採点、評価をしているのか。

課長 事業担当とする各係で事務・事業の進捗状況を取りまとめ、有識者の意見を聴いた上で、教育委員会が点検及び評価を実施している。

質 この報告書は発行後どのような方法で活用しているか。

課長 報告書の活用については、ホームページ等での公表により、保護者・PTA・住民の方から意見を拝聴し、点検及び評価を繰

り返すことにより、教育目標達成のため課題を確認し、将来を見据えた改善を図る取り組みがされている。

質 制度がスタートして数年が経過し、課題として残されてきている事項はどのようなことがあるのか。

課長 学校教育課においては、地域特性に関

わる支援教育・学力向上・諸施設の整備促進の充実が上げられる。

質 新教育長制度がスタートし、これからのような意識のもとで仕事をしていくのか。

町長 教育現場は教育長中心に従来と変わらない方針を進めるが、いじめ問題等に関して「道徳と義務のあり方」について、私なりの考え方を、教育委員会の皆様方にお伝えしたい。



芝生化された大久野小学校

おさむ 治

か 倉 嘉



平成28年度一般会計予算編成について問う

質 予算編成の基本方針、概要を伺う。

町長 「躍進ひのでニュー5大作戦」を柱に住民サービスの向上に努めることを行財政運営の基本としている。

質 予算の規模は、住民税が減少し、27年度予算を下回る状況である。町独自の福祉施策の見直し、改善が必要であると考えるが。



町長 町独自の福祉施策7項目は5億円超である。

質 次世代育成クーポン交付金は、支給方法等について、庁内で検討を進める。その他の施策についても、一定期間を経て見直しを図るよう努める。

質 老朽化する公共施設の維持、保全のため、減価償却費への充当と積立基金を増額し、将来に備えるべきでは。

町長 財政調整基金を中心に積み増しを行い、将来に備えたい。

質 平成32年度以降の地域振興費の展望は。

町長 地域振興費は存在すると考えている。

広域行政連携と都市計画マスタープランについて問う

質 JR武蔵引田駅北口が今年度末に区画整理

事業計画が決定するが、あきる野市と連携協議が必要では。

課長 8月に口頭で、事業の説明と、負担金の要請があった。

質 流域発展のため、新市長と協議をすべきでは。

町長 秋田都市計画の方針のもと、何らかの形で、協力姿勢の考え方は持っている。

こよきいなわ 縄井 貴代子



包括支援センター

ていただくための普及啓発を充実課題とし、介護予防教室や各健康教室などで情報提供や体操などの事業を実施。認知症サポーター養成講座は21年より継続的に実施。今後は地域での見守り体制の充実、早期診断・対応のための整備を進め、段階的に取り組みを推進する。

地域包括ケアシステムについて問う

質 現状と課題は。

町長 西多摩三師会をはじめ、西多摩医療圏認知症疾患医療・介護連携協議会と連携し、共有認識の構築に努めている。医療機関や在宅介護事業所等をはじめ、地域資源、社会資源が限られていることが課題である。

課長 高齢者人口は微増の見込み。介護認定サービスは70%増を見込むため、包括的かつ継続的サービス等の提供を行えるように、西多摩医師会をはじめ、日の出医師会、医療機関、介護事業所・関係者、地域の連携強化、システムの構築に努めている。

質 今後のプレミアム商品券の取り組みは。町長 現在の80%が換金され、中小店舗のみ利用できるB券が54%と健闘。換金期限終了後に、費用対効果を含めた事業の精査と検討を実施する。

質 危険性への現状認識は。町長 横田基地配備ありきでなく、配備や飛来に伴い影響が心配される空域・騒音・大気質・安全性など、地域住民の生活が安全・安心に守られることが第一優先であると考えている。



おりたま 折田 眞知子

オスプレイ飛来の恒常化を認めない取り組みについて問う

質 町の情報収集の取り組み状況は。

課長 防衛省北関東防衛局より、その都度連絡をいただくとともに、資料提供の約束をしているが情報が伝わってこないのが実情である。また、基地周辺自治体5市1町や近隣自治体と連絡を取れる体制を整えている。



横田基地に飛来するオスプレイ

質 対応策は。町長 保険税率を大幅に上げなければならぬ激変緩和として、少しずつ税率を改正し、増加に備える。

質 介護保険と同様に保険税を減免する「境界層措置」の創設を。町長 現在、被保険者が災害、貧困等特別な理由がある場合、保険税を減免する制度がある。

質 低所得者対策として、保険税減額制度もあり、町単独の措置を行なうことは、極めて難しい。

みなでつくろう日の出町の具体化を問う

質 住民参加で自治基本条例の検討を。

課長 現段階では条例の検討は考えていない。

国民健康保険の広域化の影響と減免制度を問う。質 今後の影響は。町長 平成30年4月から、都道府県が財政運営の責任主体となる。最悪の場合、町の保険料率が23区並になることも有り得ると懸念している。



清水 浩

ごみの減量化とリサイクルについて問う

質 町で収集・運搬・処分している、ごみの現状について。

町長 平成26年4月より新しい焼却施設を本格稼働することを契機に、戸別収集を本格実施した。

特段の問題もなく、戸別収集とごみ有料化へ移行できた。来年1月よりペットボトルと白色トレイの戸別収集を開始する。

質 日の出町のごみ資源化率が、低い現状と原因について。

町長 資源ごみとなる菓子箱や雑誌が可燃ごみに含まれていることや、可燃ごみの水切りの不十分や、刈られた草や伐採された庭木が十分に乾いていない状態で出されている影響

もあると思われる。

また、施設などから排出される紙おむつが総量を押し上げている事も関係があると思われるが、現時点では確かな原因を突き止めるに至っていない。

質 ごみ減量化の施策について。

町長 平成24年2月に「一般廃棄物処理基本

計画」を策定し、3Rの推進と生活環境を保全し、ごみの減量化・資源化に取り組んでいる。

「ひのでごみゼロゼロ大作戦21推進協力会」による活動や、電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器の購入補助、段ボールコンポストやエコバックの無料配布などを行い、啓発活動を展開している。

ごみに関する町民アンケートの実施を予定している。



資源回収の様子

青鹿 和男



日の出町観光協会法人化を問う

質 社会的認知を得た法人格を取得し、組織力の強化、自主事業による自立化を図るべきと考えるが。

町長 今後の観光振興を考えると、日の出町観光協会が中心的な組織として役割を果たすためには、改善すべき課題は多いが、組織力を強化するとともに、自主事業による自立化



観光資源のひとつ(つるつる温泉)

必要性もあると考えている。

里山体験や農業体験などは、滞在交流型の事業としての特色が強く、事業を効果的に実施するためには、宿泊ができる滞在施設の整備が必要になる。

宿泊施設が整備されれば、食事は肝要の里で、お風呂は、つるつる温泉、さかな園でバーベキュー、マヌ釣りをたのしむ

等々、いろいろな活用方法も可能となる。

再び、また会いたくなる人の存在や、豊かな地域性を充実させることは、リピーターの確保に一役買うことになるので、魅力の発見にも取り組んでいきたい。

を図ることは、大変重要なことであるので、日の出町としても、今後も引き続き、協会の自立に向けた指導と支援を行っていききたい。

質 今ある資源を活かした、観光客がまた来たいと思えるような滞在交流型の地域づくりも重要な視点であると考えているが。

課長 観光需要が増加していることを考えると、宿泊滞在型観光の

みつる
満

むらき
村木



1月に行われる歳の神

(仮称)東光院橋の工事について問う

質 右岸の橋台を施行するときは、全面通行止め、片側通行止のどちらか。

町長 住宅街を通る道路であり、通行する車の安全を確保するため、昼間の工事は全面通行止とし、夜間は全面解放する予定である。

質 左岸の橋台を施行する付近は、伝統行事の「歳の神」を行って

いるが、工事中及び完了後は、「歳の神」を行うことは可能か、搬入路は別に確保して頂けるのか。

町長 工事区域内は、事故防止等安全対策のため、関係者以外立入禁止となり、工事期間中の「歳の神」は遠慮していただくことになる。新たな護岸が出来るため、完了後の現地を確認し、「歳の神」を作ることが可能か判

本宿小学校のグラウンドについて問う

質 雨が降るとグラウンド中心からバックネット南側にかけて、雨水が集中し、流れた後、溝がでさ危険であるとの声があるが、対応をどのように考えているか。

課長 体育授業の運営等に支障のある場合、砂を入れ、平らでない箇所を整理し、安全対策を図っている。

断して頂きたい。搬入路は都の管理する河川区域であるため、町としては設置することは出来ない。

質 工事期間は。

課長 渇水期に工事を行うので、平成28年11月から翌年5月に完了を予定している。



ひがし
東

たまき
玉喜

本宿小北側当該地区の雨水対策と区画整理関連について問う

質 9月議会で、区画整理事業以外の解決策はないとの答弁があったが、今後の見通しは。

課長 区画整理事業の提案は、1つの手段として、防災調整池などの施設が設置できれば、解決策になるのではと提案した。また、解消

老朽化が進む本宿小建設改修計画を問う

質 教育委員会の平成28年度予算要求内容は。

教育長 28年度中に、ある程度概略が決まれば、補正予算を組み対応し、28、29年度で基本設計、30年度に実施設計の後、最短で31年度に大規模改修工事に着手する予定を組んでいる。

できた事例もある。今後引き続き対策案を検討している。

質 当該地区の方は、長いスパンではなく、早期での、抜本的な雨水対策を望んでいる。現在の技術力で何とかならないか。

副町長 現状認識としては、防災調整池を設置することは難しい。道路内は、下水管や水

道管等が通っている。町としても、解決策が見出せずにいるが、引き続き研究していきたい。

質 長い間、雨水対策に困っており、浸透枳方式の設計ぐらいは手をつけるべきでは。

町長 雨水対策の問題は、大変難しく、多くの問題を抱えている。傍聴席に大勢の方がいますが、必ず前向きに職員一丸となって、何とかいい知恵を絞って、解決策を探っていきたいと思っている。



本宿小学校北側の道路

宮崎県 綾高鍋町

視察レポート1

◎ 綾町 「ふるさと納税」について

○ 目的

綾町は「ふるさと納税」については全国でトップクラスの実績があり、その取り組みを研修し、自主財源恒久財源確保について学ぶため。

○ 概要

① 平成20年度から開始。当初は返礼品として6、7品目の特産品でスタートした。現在は約70品目の特産品をそろえる。寄付件数 約6万4000件 寄付金額 約9億4000万円 (26年度)

② 寄付金の使用事業

寄付者が寄付金の使用を左記事業から指定することができる。
・綾町の照葉樹林と名水が世界遺産の指定を受けるための事業
・自然生態系農業に関する事業
・産業観光とスポーツ等合宿を振興する事業
・時代を担う青少年育成事業
・高齢者を敬う福祉事業
・その他町長が必要と認める事業



③ 申し込み方法

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」・パンフレット・メール・FAX。ふるさとチョイスからの申し込みが9割を占める。27年度からは町の特設サイトでも行っている。

申し込みの多くは関東・関西・中部・九州地方の順。関東では東京・神奈川。中部では名古屋が多い。

所感

綾町の「ふるさと納税」の成果は、寄付者に対してお礼の気持ちや伝わるようきめ細かなアイデアが特徴。

例えば、お礼としての相応の「特産品」を一覧表から選ぶほか、寄付金

の使用目的も選択できる。自治体の財政事情が厳しくなっているなか、ひとつの政策としてこのような自発的・積極的な取り組みは今後一層求められていくものと強く感じた。

◎ 高鍋町 「健康づくりセンター」について

○ 目的

病気の早期発見・重篤化防止には健康づくりや各種診療の受診率向上は欠かせない課題であり、健康を維持する様々な取り組みを行っている高鍋町の施設や状況を研修し、参考とするため。

○ 概要

① 平成16年6月1日開館。床面積1529.69㎡、鉄筋コンクリート作り平屋建、室内プールを併設し、事務室、多目的ホール、子ども広場、調理室、研修室、相談室等からなり、バリアフリーをはじめ、オストメイトトイレ対応の多機能トイレも備える。子どもから高齢者を含めた総合的な健康づくりの拠点として設置した。



② 母子保健事業
子供が健やかに生まれ育つために、健康診査や健康相談、各種学級、家庭訪問などを通し、妊娠、出産、育児の各時期を一貫して支援している。

③ 栄養関係事業

乳幼児から高齢者まで、生涯にわたっていきいきと暮らすことが出来るよう、その基盤となる「食」について、乳幼児（高齢者、妊婦を対象に幅広い取り組みを行っている）。

④ 保健施設管理運営

子どもから大人まで心身の健康づくりに役立てるために、各種団体に保健施設の貸し出しを行っている。

所感

この視察を通して、これからの健康づくり（健康維持増進事業・各種検診・各種指導）は、少子高齢化が進むことを考えると、高鍋町のように「拠点」を設けて町民の利便性を考慮した健康づくりを図っていくことが望ましいと考える。

研修の中で各種の受診率についても触れたが、受診率向上は共通の課題であることを再認識した。健康づくりの拠点として利用されている様子を伺い施設の在り方や、健康づくりの良いヒントを学ぶことが出来た。

視察レポート2



◎ 信濃町

「施設一体型小中一貫教育」について (信濃町立信濃小中学校)

○ 目的

信濃町は「施設一体型小中一貫教育」のもと、特色ある教育活動を先進的に取り入れており、その取り組み状況を視察し、今後の町の教育行政の参考とするため。

○ 概要

① 鉄筋コンクリート造3階建・普通教室23室・特別支援教室6室・理科室・生活科室・音楽室・美術室・被服室・調理室・図書室・児童・生徒会室・リソースルーム・地域交流ホール・地域交流サロ

ン等

② 信濃町内は5つの小学校と、1つの中学校が存在したが、少子化の進行、校舎の老朽化が問題となり、小中学校を統合し、平成24年4月に信濃町立小中学校が開校した。

○ 学校目標

躍進 (自主・友愛・克己) 自主 自ら求めて学ぶ児童・生徒 友愛 命と仲間をいっしょに 克己 最後までやり抜く児童・生徒

○ 4・5区分による学びの充実

信濃小中学校では、施設一体型の小中一貫校として、小学校4年生までの初等部と5年生からの高等部の4・5区分で小中9年間を運営している。

さらに学校目標の実現に向けて、読書活動とふるさと学習を柱に位置づけ、9年間継続して朝読書活動や、信濃町を学習材にした学習に取り組んでいる。それらの指導にあたっては、地域の方々の協力を得て、地域で子どもを育み、支援する体制をとっている。

所感

通学や地域の反応等で苦労された後が見受けられるが、教師、子供達が見るくいきいきと学校生活をしている姿は非常に印象深いものがあった。児童数が大きく減少する過程で、5〜6校の校舎をまとめる話が今回の良い結果を生んだことになった。

日の出町の人口は近年増加傾向にあるが、少子高齢化が進行し、近い将来、児童生徒数の減少問題に直面することが想定されており、今後の教育行政の取り組みの1つとして参考にしていきたい。

◎ 安曇野市

「新交通システム(あづみん)」について

○ 目的

安曇野市は、民間バスの路線がほとんど撤退し、交通手段の確保が切実な問題となり、新交通システムを開始した。日の出町においても高齢者世帯が増加し、多様化する住民ニーズへの対応の参考とするため。

① 概要

新・公共交通システム

について

安曇野市で行っている「新交通システム」とは、時刻表により同じ路線で運行する「定時路線」。そして原則全市内で運行し、事前に電話などで予約した人の家や指定する場所を順次まわりながら、それぞれの目的地で降ろす「乗り合いタクシー」方式の交通システムの「デマンド交通」の二つで構成されている。

② 現在までのあゆみ

合併当初の安曇野市では、ごく一部の路線を除いて民間バス路線が廃止され旧町村単位で独自に交通施策を行っていたが、連携が取れていなかったり、利用者の低迷などの実態があり、新たな公共交通システムを確立することは重要かつ早急に解決すべき課題であった。

平成18年新たな公共交通システムの実現を目指した検討委員会を設置し、関係者と連携しつつ住民意向を反映ながら検討を重ね、平成19年10月から「あづみん」の愛称で14台の乗り合いタクシーを中心とした運行を開始した。

デマンド交通



所感

どんなに素晴らしいシステムが開発されても、それを使いこなす人の力と努力の結晶がなければ成功には導けないという事を安曇野市デマンド交通から改めて学んだ。

また、事業が軌道にのるまでのしばらくの間は、中心となり、情熱を持って仕事をする人の存在が必要であることがキーポイントであった気がする。今後日の出町においても交通弱者は増加し多様化されると考えられるが、デマンド交通を視野に入れた公共交通を、再度見直す時期とも感じ、大変参考となった。

次の定例会は3月に開かれます

3月定例会日程（予定）

2月	25日（木）	議会運営委員会	10：00～
3月	1日（火）	本会議（議案審議）	10：00～
	2日（水）	本会議（一般質問）	10：00～
	3日（木）	本会議（一般質問）	10：00～
	4日（金）	総務まちづくり常任委員会	10：00～
	5日（土）～6日（日）	休会	
	7日（月）	厚生文教常任委員会	10：00～
	8日（火）	議会運営委員会	10：00～
	9日（水）	予算決算常任委員会	10：00～
	10日（木）	予算決算常任委員会	10：00～
	11日（金）～15日（火）	休会	
	16日（水）	本会議（議案審議）	10：00～

請願・陳情は！

3月の定例会では、2月19日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版（縦長）の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時間にご来庁願います）
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。
（問い合わせ 電話（597）0511 内 363）

表
紙

〇〇に関する請願
紹介議員 ㊟
※陳情には紹介議員はいりません。

（陳情に表紙はいりません）

本
文

〇〇に関する請願（陳情）
要旨理由
平成 年 月 日
請願（陳情）者
住所
氏名 ㊟
電話番号
外 名
日の出町議会議長 殿

議会だより表紙写真募集

- ・応募期間 平成28年2月1日～4月5日
- ・第178号に掲載予定
- ・町内で撮影した春をイメージした写真
- ・一人につき1作品応募できます。

表紙写真応募用紙に必要事項を記入の上、作品を添えてメール、郵送又は直接事務局まで応募下さい。応募用紙は、議会ホームページ・議会事務局まで。

- ・議会だより編集委員会が審査します。
- ・詳しくは、議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。

本会議の会議録をインターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。

知りたい情報を広く的確に調べることができますので、積極的にご利用ください。

アクセス方法

町のホームページ
(www.town.hinode.tokyo.jp)

↓
町議会

↓
会議録

↓
会議録検索システム

日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等も掲載しています。

議会だより編集委員

清水 浩 縄井 貴代子 村木 満
小玉 正義 折田 眞知子 東 玉喜
(編集委員長)

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線 363

担当者 濱中 一成

再生紙を使用しています。

議会日誌

第26回東京都道路整備事業推進大会



10月29日、日比谷公会堂にて開催されました。

編集後記

申年の2016年は、新しいことに『チャレンジ』してみてもいいから、自分が変わるヒントが得られるはずです。

昨年、宇宙探査機はやぶさ2号が、打ち上げ1年後の12月、地球に最接近し、地球の重力に引かれて「スイングバイ」して、小惑星リュウグウに向かっていきます。成功を心から祈っているところです。

宇宙で頑張っている「はやぶさ2」に負けずに、「みんなで作るさつぷりの出町」住んで良かったと実感できる町づくりを目指して、「一つの輪になって前に進みましょう。」

議会だより編集委員会では、「読みやすく わかりやすい」紙面づくりに努めてまいります。今後とも、議会だよりを通じて、多くの皆様から、ご意見、ご感想などお寄せ頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

まだまだ、寒い日が続きますが、風邪などひかないようご自愛ください。

編集委員 東 玉喜